

令和4年度

福井県教員育成指標 教員研修計画概要

福井県教育委員会

福井県教育総合研究所

目 次

1	福井県教員育成指標	1
	（1）福井県教員育成指標とその活用について	1
	（2）福井県教員育成指標	3
2	令和4年度 福井県教員研修のポイント	8
3	基本研修・職務研修	10
	初任者研修	11
	2年目研修	19
	3年目研修	21
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	22
	マネジメント研修	25
	新任教頭研修	26
	新任校長研修	27
	採用前研修	28
4	基本研修・職務研修に係る教科別研修および通信型研修	30
5	新しい教育課題への対応	32
6	教育庁各課等の研修	33
7	教員の自主的な研究活動への支援	38
8	主体的な研修受講とキャリア形成の促進	38

福井県教員育成指標（全体版）

1 福井県教員育成指標

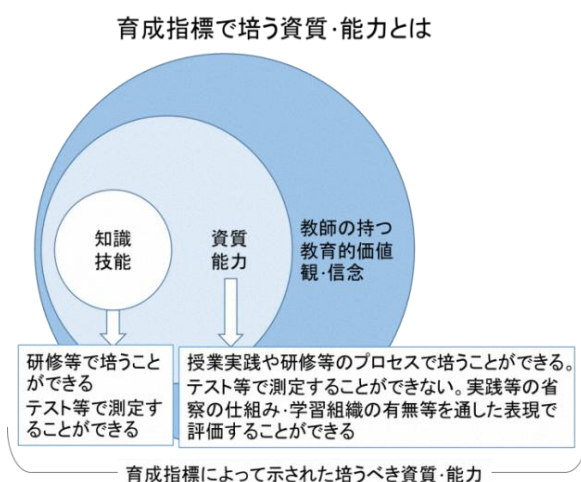
(1) 福井県教員育成指標とその活用について

1 福井県教員育成指標の基本的な考え方

- ・知識基盤社会に突入し、産業構造が大きく変化する中で、これからの社会で求められる人材像を踏まえた教育の展開や、学校現場の諸課題への対応力を図るためには、教員は向上心を持ち、学び続けることが必要である。
- ・本県においては、教育行政の指針を定めた「教育に関する大綱」の基本理念として、「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり～子どもたちの『夢と希望』『ふくい愛』を育む教育の推進～」を掲げるとともに、子どもの個性を「引き出す教育」や好奇心や探究心を持って学びを自ら進んで「楽しむ教育」を推進している。また、本県が育成することを目指す人間像として次の三つの姿を示している。
 - 自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人
 - 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人
 - ふるさとや自然を愛し、いづどこにいても社会や地域に貢献する人
- ・教員については、採用時から教職生活全体を通じて「学び続ける人」であることを求めており、その具体的な姿は次の通りである。
 - 校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人
 - 専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人
 - 子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域社会と円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人
 - 教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

- ・そこで県では、福井県教員育成指標（以下「指標」という。）を示し、これからの教員に求められる資質・能力を具体的に例示した。示した資質・能力は、研修等で直接習得することのできる知識・技能と、直接的な教示では習得が難しい、授業や研修のプロセスの中で培われる資質・能力とから構成されている。

- ・特に、直接的に教示することでは習得が難しい資質・能力の中には、学習指導要領が示す「思考力・判断力・表現力」のように知識・技能の習得に関連して培われるものもあれば、「学びに向かう力」のように教員の持つ教育的な価値観や信念との関連の中で育まれるものもあり、その幅は広い。（上図参照）



- ・教員の資質・能力を育成するためには、研修の中で習得される最新の教育情報や知識・技能が、日々の実践の中で再確認されることが必要である。そのためには、それぞれの研修の中で、個々の実践に基づく振り返りの機会や、研修参加者が自分の実践と自らの教育的価値観等と突き合わせる機会を設けるとともに、研修相互の関係を明らかにした一体的な研修体系にすることが不可欠である。
- ・指標で示したステージは、採用時よりおよそ10年ごとを目安として設定している。まず、「福井県が求める採用時の姿」を示した上で、第1ステージは、「教員としての基礎を固める時期」、第2ステージは「中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する時期」、第3ステージを「経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする時期」として位置づけた。
- ・それぞれのステージでは、そのステージに応じて身に付け、発揮されるべき資質・能力がある。例えば、管理職として人材育成能力、危機管理能力などは必要不可欠な能力であるが、このような能力は、管理職段階になって急に育成されるものではない。初任段階からの道のりの中で習得された知識・技能を基に、絶え間ない振り返りを繰り返すことで、資質・能力として身につくものである。

2 福井県教員育成指標の活用について

- ・今回示した指標を活用することによって、教員それぞれの適性や状況と、求められる資質・能力の関係を把握することができる。また指標で示されたキャリアステージと資質・能力の関係を踏まえて、一人一人の教員が他者の実践事例も学ぶことで、他者の経験を自己の経験に意味づけて膨らませながら自らのPDCAサイクルを回すことができる。



- ・また、学校や研修における教員の資質・能力の育成のためのPDCAサイクルの成果は、絶えず育成指標の再構築に結びつかなければならない。そのためには県教育総合研究所を中心に、教員研修を行う各機関や各大学が、年度ごとに指標に基づいた研修成果の検証を行うとともに、その検証に基づいて次年度の教員研修計画の作成と育成指標の見直しを組織的に行うこととする。（上図参照）
- ・指標を一つの指針として、関係機関が連携して学校の教員集団を学び合う専門職集団にすることが、直接的に教示のできない教師の資質・能力を培う基盤となる。

(2) 福井県教員育成指標

福 井 県 教 員 育 成 指 標

福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、
人生を切り拓くために挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても
社会や地域に貢献する人

福 井 が 求 め る 教 師 像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的スキル
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を
身につけ、自立した社会人としての
良識や幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする
素 養	教育的愛情 使命感	<ul style="list-style-type: none"> ・教職への情熱 ・子どもに対する愛情 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に対する使命感、誇り、責任感 ・学校教育を牽引する使命感、責任感 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校運営に積極的に参画する責任感
	倫理観 人間性 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画 		
	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との意思の疎通と協働 	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通 		
	学び続ける力 探究心	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見-解決の努力-省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言

資質・能力		ステージ	福井県が求める採用時の姿		
			第1ステージ 教員としての基盤を固める	第2ステージ 中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	第3ステージ 経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする
指導力	学習指導	教科等の専門性	<ul style="list-style-type: none"> 教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 幼・小・中・高を通じた学びの接続の視点での研究の推進 子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究 		
		授業力	<ul style="list-style-type: none"> 教科等の特性や本質の理解 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びへの工夫 協働的な学びへの工夫 主体的・対話的で深い学びへの工夫 指導と評価の一体化に基づく実践 子どもの学びの見取りの意義と実践 ICT機器の積極的な活用やプログラミングに関する学習活動の工夫 校内研究への主体的な取り組み、積極的な授業公開の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 省察をもとにした授業改善 教科等の特性や本質の追究 多様な授業形態を工夫した個別最適な学びの実現 協働的な学びの実現 主体的・対話的で深い学びの実現 ICT機器の活用の牽引 教科等横断的なカリキュラムデザイン 校内研究の中核として授業実践を牽引 若手教員への授業力を高める指導、助言 	<ul style="list-style-type: none"> 広い視野での授業改善 教科等の特性や本質を理解した実践 多様な授業形態を工夫した個別最適な学びの深化 協働的な学びの深化 資質・能力を培う授業の提案 主体的・対話的で深い学びの深化 学校全体の授業力向上に係る企画 学校内の中心で示範となる授業実践の推進 学校全体でのICT機器活用の推進 校内研究の中心として組織を運営 学校内外の教職員への指導、助言
		福井の教育力を支える研究・連携	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 縦もち教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 研修や自主研究会への主体的な参画 教員間の世代間交流による優れた教育力の継承 		

資質・能力		ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
				教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする
指導力	生徒指導	幼児・児童・生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの理解の重要性の認識 子どもの発達段階への理解 一人一人に向き合う意識 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性の理解 インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 学級および学年全体の子どもの理解 学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な学年経営と学校全体の子どもの理解 子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営
		問題行動への対応	<ul style="list-style-type: none"> 個や集団への指導と手立ての理解 一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 多様な子どもに対する寛容の心と態度 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性に応じた指導、支援 子どもの特性を理解した原因分析力 学校の生徒指導の方針に対する理解 報告・連絡・相談を通じたチームで対応する指導の実践 家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> チームの中核として子どもへの適切な指導 子どもの個性、特性に応じた指導方針を基にチームの中核として集団を牽引 若手教員に対する適切な指導、支援 家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> チームの責任者として教職員に対する指導、助言 子どもの個性、特性に応じた組織的な指導方針の立案 チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 速やかな情報の共有と適切な管理 家庭や地域、関係機関との連携・協働
		特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識 発達障がいに対する知識、理解 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践 合理的配慮に対する理解、実践 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引 子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 関係機関と協働した課題の改善、解決

ステージ 資質・能力		福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする
マネジメント・人材育成	業務改善 (働き方改革 に向けて)	・効率的な時間管理に対する意識	・自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践
	学年経営 学級経営	・理想とする学級像の形成	・子どもが達が安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて中核として学校を牽引 ・カリキュラムマネジメントを意識した協働的活動の牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言
	社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践
	学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・学校安全、危機管理に対して中核として対応 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対応と未然防止に対する教職員への指導、助言
	人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の研修や自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営
連携・協働	組織における協働	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	・ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築
	家庭や地域社会との連携	・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	・家庭、地域社会、関係機関との連携、協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築		
福の井力	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への愛着 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE教育」など)		

ステージ	管理職	トップリーダーとして教育活動を推進する
------	-----	---------------------

資質・能力					
素 養	教育的愛情 使命感 責任感	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力 	学 校 経 営 者 と し て の 専 門 性 (経 営 ・ 組 織 マ ネ ジ メ ン ト)	業務改善 (働き方改革 に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務時間の把握 ・勤務時間を意識した教職員の働き方の徹底と職場環境の構築 ・教職員の業務の明確化と外部人材活用、外部業務委託の推進 ・PTAや地域の理解を得るための取組
	倫理観 人間性 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築 		組織マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示 ・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力 ・スクールプランを実現する具体的な方策の決定 ・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり ・一人一人の教職員が意欲をもって活動できる機会の構築、適性に応じた職務の分掌による組織運営 ・福井型コミュニティスクールによる地域と連携した学校づくり ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり ・GIGAスクール構想の実現にむけたリーダーシップの発揮 ・特別支援教育のコーディネート力の向上と組織的なインクルーシブ教育の推進
	判断力 学び続ける力 探究心	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ・正確で迅速な情報収集、状況把握、的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握 		教職員理解 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理 ・目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導 ・教職員のもち味や新しいアイデア等の学校運営への活用 ・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成
	創造的に思考 する力 コミュニケーション 力	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力 ・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築 		学校安全 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
			財務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備・備品等の充実 ・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理 	
			家庭や地域 社会との連 携・折衝	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約 ・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用 ・地域の教育資源の積極的な活用 	

2 令和4年度 福井県教員研修のポイント

(1)「福井県学校業務改善方針」を踏まえて教員研修を精選・効率化

- 集合とオンラインを効果的、効率的に組み合わせた研修を実施
 - ・教員育成指標に基づいた実践的課題に対する研修の実施により、教員の個別の学びと協働での学びを支援
- 感染症等への対策を講じた研修の実施
 - ・クロスセッションの回数を増やし（4回→6回）、1回あたりの受講者数100名以下で実施
- 受講者の移動の負担を軽減
 - ・中堅教諭等資質向上研修やクロスセッションにおいて丹南地域での実施回を設定
- 受講者が利用しやすいシステムに変更
 - ・教育総合研究所ホームページの改修に伴い、三つのシステム（研修講座申込システム、通信型研修システム、教育情報システム）の入り口を一本化
 - ・教育情報システムの活用により、研修資料の配付やレポート等の提出を簡易化

(2)OJTを通じて日常的に学び合う校内研修を充実

- 年間を通して学校改革に向けた実践に取り組み、省察、記録を重ねる実践型の研修を推進（マネジメント研修）
 - ・OJTを活用して指導力の向上を図るために、校内での具体的な実践につなげる研修を実施
 - ・受講者に対して受講後の校内での実践を支援するために、研修後、オンラインでの協議や実践交流を実施
- 様々な課題に対応するために学校を訪問
 - ・教科指導、学級経営に関する訪問型研修や、学校の要請に応じた教育相談に係る事例会議等を実施し、教育総合研究所などのチームによる継続的支援を充実
 - ・県教育庁と市町教育委員会が連携し、優れた教材や指導方法を開発、支援

(3)新しい教育課題に対する研修を強化し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- ICTを活用した授業を実践するための研修を充実
 - ・教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、授業等に生かせるようにタブレット活用の実践的な研修を実施
 - ・管理職を含め幅広い年代の教員を対象としたタブレット活用を推進するための研修を実施
- 授業におけるタブレット活用を促進
 - ・活用のヒントや事例を紹介し、授業でのタブレット活用を支援
- 学校の様々な課題に対応する力の向上を支援
 - ・新任管理職対象に学校危機管理、外部対応、学校財務マネジメントに関する研修を実施
 - ・全校長対象にデジタル・シティズンシップに関する研修を実施
- 新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実
 - ・学習評価や探究的な学習を導入した授業づくり、学校マネジメント等、各学校の課題に即した実践的な研修を実施
 - ・SASAや全国学力調査などの分析結果をもとに授業改善を支援
 - ・一人一台端末を活かした授業づくりに関する通信型研修の講座を新規に配信
- 「引き出す・楽しむ教育」を推進するため、テーマごとに講演や研修、意見交換会を実施

(4) 教員の自主的な研究活動への支援を継続し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

○「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために教員の自主研究活動への支援を継続

- ・若手教員の自主研究活動を活性化するための支援を継続
- ・ICTを活用した実践や探究的な学習活動など、新たな教育課題への対応に係る自主研究活動への支援を継続し、学校や地域での特長ある実践的な取組みを支援
- ・授業名人をリーダーとする教員グループの自主研修活動への支援

(5) 福井県教員育成指標をもとに、個々の教員が自らキャリア・マネジメントできる体制を充実

○「学び続ける教員」として、主体的なキャリア・マネジメントができるように支援

- ・教員免許状更新制度の発展的解消に向け、自らの受講履歴とキャリアステージに応じた主体的・効果的な研修受講を支援
- ・受講者が指標をもとに自分のキャリアステージに応じて必要な資質・能力を理解し、主体的な研修の受講を促すために、それぞれのステージの研修において自分の資質・能力を自己評価できるシートを活用

3 基本研修・職務研修

研修名		日数	対象者
若手教員研修	初任者研修	14日	令和4年度に採用された教諭
	2年目研修	5日	令和3年度に採用された教諭
	3年目研修	3日	令和2年度に採用された教諭
幼稚園・認定子ども園新規採用教員研修		6日	令和4年度に採用された公・国・私立幼稚園、認定こども園等新規採用教員
上中堅教諭等資質向上研修 I・II・III	① 全日程	8日	令和4年度が免許状更新期間の1年目にあたる教諭等のうち、中堅教諭等資質向上研修の全日程または旧10年経験者研修を修了していない者※ただし、若手教員研修を修了していない教諭は②の対象となる。
	②免許状更新講習に読替可能な研修	3日	令和4年度が免許状更新期間の1年目にあたる教諭等
マネジメント研修		3日	研修の受講を希望する者で、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭
新任教頭研修		3日	令和4年度の新任教頭
新任校長研修		3日	令和4年度の新任校長
臨時的任用講師研修		6日	経験1年未満の臨時的任用講師等 講師等経験1年以上の臨時的任用講師の希望者

(注)教員免許状更新に必要な30時間の講習のうち、令和4年度に県が行う講習は、18時間（3日分）。
残りの選択領域12時間は、各自大学等で受講が必要。

(注)上記の日数は教育総合研究所が実施する研修の日数であり、研修によっては上記以外に学校内での研修の実施を要するものもある。

初任者研修

(1) 目的

- ・教育公務員特例法第23条に基づき、職務の遂行に必要な事項に関する実践的指導力の向上を図るとともに、教員としての使命感を高め、教職に関する知見を広げる。

(2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるスタートとして、豊かな人間性などの素養とともに学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働など、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・R3にオンデマンドで行った服務規律等の研修を、学級づくり等の研修と合わせ、全受講者対象に県営体育館で集合研修として実施
- ・ICT活用に関する研修は、学習支援アプリ別に5会場に分けて実機を用いた演習を実施
(教育総合研究所、嶺南教育事務所、国際交流会館、県産業情報センター、武生商工会議所)
- ・オンラインでの研修を2回実施
(7月授業実践研究のテーマ設定、8月児童・生徒理解等)
- ・幼稚園・幼保連携型認定こども園新採用教員研修の園外研修について、半日研修9回を1日研修6回とし、幼児の発達に重要とされている五つの領域について研修内容を編成
- ・園内研修の実施回数9日を5日に変更

(4) 対象者

- ①令和4年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭
- ②令和4年度当初の公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教諭および令和3年度途中における公・国・私立幼稚園ならびに認定こども園等の新規採用教諭

(5) 内容

①小学校

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 春季休業中の受講を推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅰ～電話応対～」 ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅱ～来校者応対～」 ・通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」 	素養 マネジメント
第2日 4月14日(木) 県営体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務 ・人権教育 ・学校教育の現状と課題 ・学級づくり① 	素養 マネジメント 生徒指導

<p>第3日</p> <p>4月20日(水)国際交流会館 21日(木)嶺南教育事務所 25日(月)県産業情報センター 27日(水)武生商工会議所 28日(木)教育総合研究所 のうち指定された1日</p>	<p>・ICTタブレット活用</p>	<p>学習指導</p>
	<p>通信型研修「情報セキュリティの基礎」</p>	<p>マネジメント</p>
<p>第4日</p> <p>5月26日(木) 嶺北 5月27日(金) 嶺南</p>	<p>・学習指導要領の理念 ・教科別研修Ⅰ(国語、社会、算数、理科、外国語) ・授業づくり① ・福井の教育①</p>	<p>学習指導 福井の力</p>
	<p>通信型研修(教科指導に関する講座を1講座選択)</p>	<p>学習指導</p>
<p>第5日</p> <p>6月7日(火) 三方青年の家</p>	<p>・教職員のメンタルヘルス ・同僚性の構築 ・福井の教育②</p>	<p>マネジメント 素養 福井の力</p>
<p>第6日</p> <p>6月21日(火) 嶺北 6月23日(木) 嶺南</p>	<p>・道徳の授業づくり ・特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応)</p>	<p>学習指導 生徒指導</p>
	<p>通信型研修「道徳教育の基礎」</p>	<p>学習指導</p>
<p>6月中旬～7月上旬 オンライン</p>	<p>・個人面談</p>	<p>マネジメント</p>
<p>第7日</p> <p>7月7日(木) 嶺北 7月5日(火) 嶺南 オンライン</p>	<p>・授業づくり② ・授業実践研究Ⅰ(テーマ設定)</p>	<p>学習指導</p>
<p>随時各自申込み</p>	<p>・授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)</p>	<p>学習指導</p>
<p>第8日</p> <p>8月22日(月) オンライン</p>	<p>・児童・生徒理解 ・学級づくり② ・健康安全教育(防災、食育を含む)</p>	<p>生徒指導 マネジメント</p>
	<p>通信型研修「教師のメンタルヘルス」</p>	<p>マネジメント</p>
<p>第9日</p> <p>10月6日(木) 福井・坂井・奥越 9月29日(木) 鯖丹・南越・嶺南</p>	<p>・体育に関する安全管理と指導</p>	<p>学習指導</p>
	<p>通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」</p>	<p>学習指導</p>
<p>第10日</p> <p>10月20日(木) 2拠点ハイブリッド型</p>	<p>・教育相談とカウンセリング (幼稚園・認定こども園新規採用教員とのクロスセッション)</p>	<p>生徒指導 連携・協働</p>
	<p>通信型研修「不登校の理解と対応」</p>	<p>生徒指導</p>
<p>第11日</p> <p>11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日</p>	<p>・授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)</p>	<p>学習指導 連携・協働</p>
	<p>通信型研修「授業の見取りの基礎・基本」</p>	<p>学習指導</p>
<p>第12日</p> <p>1月26日(木)、27日(金)、 2月2日(木)、3日(金)、 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日</p>	<p>・教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)</p>	<p>学習指導 連携・協働</p>
	<p>通信型研修「キャリア教育の基礎」</p>	<p>学習指導</p>

第13日 市町教育委員会等が設定	・地域別授業実践研究①	学習指導
第14日 市町教育委員会等が設定	・地域別授業実践研究②	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度（教職大学院修了者は年間90時間程度）

②中学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 春季休業中の受講を 推奨	・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅰ～電話対応～」 ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅱ～来校者対応～」 ・通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 マネジメント
第2日 4月14日(木) 県営体育館	・教職員の服務 ・人権教育 ・学校教育の現状と課題 ・学級づくり①	素養 マネジメント 生徒指導
第3日 4月20日(水)国際交流会館 21日(木)嶺南教育事務所 25日(月)県産業情報センター 27日(水)武生商工会議所 28日(木)教育総合研究所 のうち指定された1日	・ICTタブレット活用	学習指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント
第4日 5月26日(木) 嶺北 5月27日(金) 嶺南	・学習指導要領の理念 ・教科別研修Ⅰ ・授業づくり① ・福井の教育①	学習指導 福井の力
	通信型研修（教科指導に関する講座を1講座選択）	学習指導
第5日 6月8日(水) 三方青年の家	・教職員のメンタルヘルス ・同僚性の構築 ・福井の教育②	マネジメント 素養 福井の力
第6日 6月21日(火) 嶺北 6月23日(木) 嶺南	・道徳の授業づくり ・特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	学習指導 生徒指導
	通信型研修「道徳教育の基礎」	学習指導
6月中旬～7月上旬 オンライン	・個人面談	マネジメント
第7日 7月7日(木) 嶺北 7月5日(火) 嶺南 オンライン 随時各自申込み	・授業づくり② ・授業実践研究Ⅰ（テーマ設定）	学習指導
	・授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	学習指導
第8日 8月22日(月) オンライン	・児童・生徒理解 ・学級づくり② ・健康安全教育（防災、食育を含む）	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「教師のメンタルヘルス」	マネジメント
第9日 10月28日(金) 丸岡高等学校	・高校教育の現状と課題 ・教科指導の実際（公開授業参観等）	マネジメント 学習指導
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導

第10日 9月22日(木) 嶺北 10月20日(木) 嶺南 嶺南は2拠点ハイブリッド型	・教育相談とカウンセリング	生徒指導 連携・協働
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導
第11日 11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	学習指導 連携・協働
	通信型研修「授業の見取りの基礎・基本」	学習指導
第12日 1月26日(木)、27日(金)、 2月2日(木)、3日(金)、 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	学習指導 連携・協働
	通信型研修「キャリア教育の基礎」	学習指導
第13日 市町教育委員会等が計画	・地域別授業実践研究①	学習指導
第14日 市町教育委員会等が計画	・地域別授業実践研究②	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度（教職大学院修了者は年間90時間程度）

③県立中学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 春季休業中の受講を 推奨	・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅰ～電話応対～」 ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅱ～来校者応対～」 ・通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	素養 マネジメント
第2日 4月14日(木) 県営体育館	・教職員の服務 ・人権教育 ・学校教育の現状と課題 ・学級づくり①	素養 マネジメント 生徒指導
第3日 4月20日(水) 国際交流会館	・ICTタブレット活用	学習指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント
第4日 5月26日(木)	・学習指導要領の理念 ・教科別研修Ⅰ ・授業づくり① ・福井の教育①	学習指導 福井の力
	通信型研修（教科指導に関する講座を1講座選択）	学習指導
第5日 6月8日(水) 三方青年の家	・教職員のメンタルヘルス ・同僚性の構築 ・福井の教育②	マネジメント 素養 福井の力
第6日 6月21日(火)	・道徳の授業づくり ・特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	学習指導 生徒指導
	通信型研修「道徳教育の基礎」	学習指導
6月中旬～7月上旬 オンライン	・個人面談	マネジメント

第7日 7月7日(木) オンライン 随時各自申込み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり② ・授業実践研究Ⅰ(テーマ設定) 	学習指導
	・授業研究(公開授業参観および研究協議会参加)	学習指導
第8日 8月22日(月) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒理解 ・学級づくり② ・健康安全教育(防災、食育を含む) 	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「教員のメンタルヘルス」	マネジメント
第9日 10月28日(金) 丸岡高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・高校教育の現状と課題 ・教科指導の実際(公開授業参観等) 	マネジメント 学習指導
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第10日 9月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談とカウンセリング 	生徒指導 連携・協働
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導
第11日 11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション) 	学習指導 連携・協働
	通信型研修「授業の見取りの基礎・基本」	学習指導
第12日 1月26日(木)、27日(金)、 2月2日(木)、3日(金)、 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション) 	学習指導 連携・協働
	通信型研修「キャリア教育の基礎」	学習指導
第13日 高校教育課が計画	・授業実践と研究協議①(指導主事訪問)	学習指導
第14日 高校教育課が計画	・授業実践と研究協議②(指導主事訪問)	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度(教職大学院修了者は年間90時間程度)

④高等学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 春季休業中の受講を 推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅰ～電話応対～」 ・通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅱ～来校者応対～」 ・通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」 	素養 マネジメント
第2日 4月14日(木) 県営体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務 ・人権教育 ・学校教育の現状と課題 ・学級づくり① 	素養 マネジメント 生徒指導
第3日 4月20日(水)国際交流会館 21日(木)嶺南教育事務所 25日(月)県産業情報センター 27日(水)武生商工会議所 28日(木)教育総合研究所 のうち指定された1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTタブレット活用 	学習指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント

第4日 5月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の理念 ・教科別研修Ⅰ ・授業づくり① ・福井の教育① 	学習指導 福井の力
	通信型研修（教科指導に関する講座を1講座選択）	学習指導
第5日 6月8日(水) 三方青年の家	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のメンタルヘルス ・同僚性の構築 ・福井の教育② 	マネジメント 素養 福井の力
第6日 6月23日(木) 盲学校 6月中旬～7月上旬 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応） ・特別支援教育の現状と課題 	生徒指導 マネジメント
	・個人面談	マネジメント
第7日 7月7日(木) オンライン 随時各自申込み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり② ・授業実践研究Ⅰ（テーマ設定） 	学習指導
	・授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	学習指導
第8日 8月22日(月) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒理解 ・学級づくり② ・健康安全教育（防災、食育を含む） 	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「教員のメンタルヘルス」	マネジメント
第9日 10月28日(金) 丸岡高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・高校教育の現状と課題 ・教科指導の実際（公開授業参観等） 	マネジメント 学習指導
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第10日 9月22日(木)	・教育相談とカウンセリング	生徒指導 連携・協働
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導
第11日 11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション） 	学習指導 連携・協働
	通信型研修「授業の見取りの基礎・基本」	学習指導
第12日 1月26日(木)、27日(金)、 2月2日(木)、3日(金)、 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション） 	学習指導 連携・協働
	通信型研修「キャリア教育の基礎」	学習指導
第13日 高校教育課が計画	・授業実践と研究協議①（指導主事訪問）	学習指導
第14日 高校教育課が計画	・授業実践と研究協議②（指導主事訪問）	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度（教職大学院修了者は年間90時間程度）

⑤特別支援学校

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 春季休業中の受講を 推奨	<ul style="list-style-type: none"> 通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅰ～電話対応～」 通信型研修「社会人基礎力養成講座Ⅱ～来校者対応～」 NISE学びラボ「多様な学びの場（特別支援学校の教育）」 	素養 マネジメント
第2日 4月14日(木) 県営体育館	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の服務 人権教育 学校教育の現状と課題 学級づくり① 	素養 マネジメント 生徒指導
第3日 4月20日(水)国際交流会館 21日(木)嶺南教育事務所 25日(月)県産業情報センター 27日(水)武生商工会議所 28日(木)教育総合研究所 のうち指定された1日	<ul style="list-style-type: none"> ICTタブレット活用 	学習指導
	通信型研修「情報セキュリティの基礎」	マネジメント
第4日 5月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践研究Ⅰ（個別研究のテーマについて） 特別支援教育概論 障がいの理解 	学習指導 生徒指導
第5日 6月8日(水) 三方青年の家	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 福井の教育 	マネジメント 素養 福井の力
第6日 6月23日(木) 盲学校 6月中旬～7月上旬 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応） 特別支援教育の現状と課題 	生徒指導 マネジメント
	個人面談	マネジメント
第7日 7月7日(木) 随時各自申込み	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくり 授業実践研究Ⅰ（個別研究の経過報告） 授業研究（公開授業参観および研究協議会参加） 	学習指導 学習指導
第8日 8月22日(月) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒理解 学級づくり② 健康安全教育（防災、食育を含む） 	生徒指導 マネジメント
	通信型研修「教師のメンタルヘルス」	マネジメント
第9日 9月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談とカウンセリング 	生徒指導 連携・協働
	通信型研修「不登校の理解と対応」	生徒指導
第10日 10月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育に関する課題研究 授業実践研究Ⅰ（個別研究の中間報告） 教科指導の基礎 	学習指導 連携・協働 学習指導
第11日 11月10日(木)、17日(木)、 24日(木) のうちいずれか1日	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション） 	学習指導 連携・協働
	NISE学びラボ「障害種別の専門性」	学習指導
第12日 12月8日(木) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> テーマ別協議 	マネジメント 連携・協働

第13日 1月26日(木)、27日(金)、 2月 2日(木)、 3日(金)、 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	学習指導 連携・協働
	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	学習指導
第14日 高校教育課が計画	・授業実践と研究協議(指導主事訪問)	学習指導

※校内研修は週6時間程度、年間180時間程度(教職大学院修了者は年間90時間程度)

⑥幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月19日(火)	・教職員の服務・心得 ・幼児教育の方針・目標・現状と課題 ・幼小接続カリキュラム ・教育課程と指導計画 ・音楽遊び【表現】 ・造形遊び【表現】	素養 学習指導 生徒指導
第2日 6月9日(木)	・幼児の安全 ・食育【健康】 ・運動遊び・水遊び【健康】	学習指導 生徒指導
第3日 7月8日(金)	・人との関わり、保護者・地域社会との連携【人間関係】 ・幼児の人権 ・教職員のメンタルヘルス	連携・協働 マネジメント
第4日 9月14日(水)	・自然に関わる遊び【環境】 ・戸外環境の生かし方【環境】 ・環境構成の工夫【環境】	学習指導 生徒指導
第5日 10月20日(木)	・言葉の発達の理解【言葉】 ・気がかりな幼児への支援 ・教育相談の基礎的な理論と方法 ・気がかりな幼児への支援 (小学校初任者とのクロスセッション)	学習指導 連携・協働
第6日 各自設定	・幼稚園、認定こども園、保育所参観	学習指導 生徒指導 連携・協働

※園内研修は年間5日

2 年目研修

(1) 目的

- ・主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図る。
- ・教員として必要な多様なものの見方や考え方を身に付ける。

(2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を固めるために、豊かな人間性等の素養とともに、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント、人材育成、連携・協働等、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・一人一台のPCによるタブレット活用研修をオンラインにて実施することで、ICTを活用した授業力の向上を支援するとともに受講者の移動の負担を軽減
- ・人権教育に関する研修を充実

(4) 対象者

- ・令和3年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、初任者研修を受講したもの。

(5) 内容

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 5月10日(火) 嶺北小・中 嶺南小・中 5月11日(水) 嶺北中・高・特	(事前研修) 通信型研修「学級づくりシリーズⅡ」 ・学級運営① ・授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法) ・通信型研修「人権教育」	マネジメント 生徒指導 学習指導 素養
第2日 8月18日(木) 中・高 オンライン 各自設定 小・特	【小学校】教科別研修Ⅱ ・書写、音楽、図工、家庭から1講座選択 【中・高】主体的・対話的で深い学びの指導と評価 【特支】特別支援教育研修 ・特別支援教育センターの研修から1講座選択	学習指導
第3日 6月14日(火) オンライン	・ICTタブレット活用	学習指導
9月15日(木) 嶺北小 9月16日(金) 嶺北中・高・特 9月21日(水) 嶺南小・中	・授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の進め方)	学習指導
第4日 11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有 「今年度の中間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	学習指導 連携・協働

	・通信型研修「アクティブ・ラーニング講座 [入門編]」	学習指導
第5日 各自設定	・ボランティア活動 各自が研修場所、日時を設定して実施	連携・協働 福井の力

3年目研修

(1) 目的

- ・専門的な教科指導力と授業力の向上を図る。
- ・時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

(2) 福井県教員育成指標との関連<第1ステージ>

- ・教員としての基盤を強固にするために、豊かな人間性等の素養とともに、学習指導や生徒指導等に関する高い専門性、マネジメント・人材育成や連携・協働等、教員として求められる多様な資質・能力の基礎を、研修を通して実践的に身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・人権教育に関する研修を充実

(4) 対象者

- ・令和2年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講したもの。

(5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力	
第1日 5月19日(木) 嶺北小 5月25日(水) 嶺北中・高・特 5月24日(火) 嶺南小・中	・授業実践研究Ⅴ(授業実践研究の深め方) ・校種別研修 【小・中・高】「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり」 【特】「児童・生徒の行動理解」 ・学級運営②(レジリエンス・保護者対応) 通信型研修「人権教育」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 生徒指導 素養
第3日 11月10日(木)、11日(金)、 17日(木)、18日(金)、 24日(木)、25日(金) のうちいずれか1日	・授業実践研究の共有 「今年度の中間まとめ」 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション) 通信型研修「アクティブ・ラーニング講座[授業づくり編]」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 学習指導
第4日 1月26日(木)、27日(金) 2月2日(木)、3日(金) 9日(木)、10日(金) のうちいずれか1日	・教育実践研究の共有 「3年間の総まとめ」 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション) 通信型研修「学級づくりシリーズⅢ」	学習指導 マネジメント 連携・協働 素養 マネジメント

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

(1) 目的

- ・教育公務員特例法第24条の改正に基づき、中堅教諭として、教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において、中核的な役割を果たすことへの意識の向上を図る。
- ・ふくいの教員として、職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。

(2) 福井県教員育成指標との関連

- ・＜第2ステージ＞中堅教諭等資質向上研修Ⅰ(30歳代)・Ⅱ(40歳代)
中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引するために、若手教員等と積極的に関わり、チームの中核となって協働して課題に対応する力を実践的に身に付けられるようにする。
- ・＜第3ステージ＞中堅教諭等資質向上研修Ⅲ(50歳代)
経験を生かして若手教員等に対して指導・助言し、組織的な運営をするために、チームの中心となって学校経営に積極的に関わる力を身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・集合型研修を、教育総合研究所で2回、南越地区会場で1回実施することで、1回あたりの受講人数を制限し、受講者の移動の負担軽減に配慮
- ・プレゼンテーションに関する研修を新規導入し、受講者のニーズに対応
- ・社会体験研修を、体験研修1日分と事前準備、レポート作成等事前事後研修0.5日分の計1.5日分に軽減するとともに、企業体験研修を複数に依頼して、受講者の希望に対応

(4) 対象者および受講日数

- ・幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭・幼稚園教諭・保育教諭のうち、次に該当するものが対象となる。
 - ① 中堅教諭等資質向上研修の全日程（校外研修8日＋校内研修10日程度）の対象者
令和4年度が教員免許状更新期間の1年目にあたる教諭等のうち、中堅教諭等資質向上研修の全日程（旧10年経験者研修）を修了していないもの。ただし、若手教員研修を修了していない場合は②の対象となる。
 - ② 教員免許状更新講習に読替可能な中堅教諭等資質向上研修（3日）の対象者
令和4年度が免許状更新期間の1年目にあたる教諭等。

(5) 教員免許状更新講習に読替可能な単位(免許状更新講習)

- ・第2～4日は、教員免許状更新に必要な30時間のうちの18時間に読替可能
- ・なお、残りの12時間は各自大学等での受講が必要

(6) 内容 ※第2～4日は、教員免許状更新講習に読替可能な研修

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 4月21日(木) 22日(金) 28日(木) のうち指定された日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律 ・ 効率的、効果的な業務改善の提案と実践 ・ 教員育成指標に基づいたOJT ・ ファシリテーションの意義と方法 	素養 マネジメント 人材育成 連携・協働
6月15日(水) オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット活用推進 ・ 児童・生徒理解 (ピア・サポート、レジリエンス) 	マネジメント 生徒指導
第2～4日 下記日程から1つを選択 第1期 7月26日(火) ～7月28日(木) <勤務校または自宅> 第2期 8月8日(月) ～8月10日(水) <勤務校または自宅> 第3期 12月26日(月) ～12月28日(水) <勤務校または自宅> オンライン	教育実践と教育改革Ⅰ「これからの教育」を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の教育政策や世界の教育の動向 ・ 子どもの変化と発達 (生徒理解) ・ 実践の展開の道筋をたどる視点と方法 (世代別グループ協議) 教育実践と教育改革Ⅱ (年代別研修) <ul style="list-style-type: none"> ・ 各年代に求められる次のテーマについて、実践報告を読み解き、その実践をグループ協議で説明、実践を振り返りながらまとめる ・ 同世代と語り合いながら授業改善・個別支援等の視点を学ぶ ○テーマ1 (30歳代受講者対象) 「授業づくり」を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びを導くカリキュラムデザインの考え方、評価の方法 ○テーマ2 (40歳代受講者対象) 「気がかりな子どもへの支援」を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級経営や特別に支援の必要な子どもへのチームでの指導等 ○テーマ3 (50歳代受講者対象) 「学校マネジメント」を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営に関する教育実践、学校運営への関わり方 教育実践と教育改革Ⅲ「教育実践の省察」を深める <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践の歩みを記録することの意味 ・ 自分自身の実践経験の歩みをたどり直す ・ 教師の成長に関する課題の確認・整理 	素養 学習指導 生徒指導 マネジメント 人材育成 連携・協働

<p>第5日</p> <p>各自1日分を選択、申込み</p>	<p>・校種・教科別研修 次のA～Dのいずれかの形態を選択 A：1日講座を1講座 B：半日講座を2講座 C：半日講座を1講座 +公開授業参観および研究協議会参加 D：半日講座を1講座 +授業づくりに関する通信型研修1講座 (オンラインレポート提出)</p> <p><講座について> 教育総合研究所、嶺南教育事務所、特別支援教育センター および教育庁各課が主催する学習指導に関わる研修 (3時間程度) 例：各自の専門教科、担当教科、特別支援教育、 タブレット活用、学習評価、授業づくり全般 など</p> <p><公開授業参観および研究協議会について> 研究協議会が開かれる集合型の公開授業 例：授業名人の公開授業 各学校、教科等の研究発表会</p>	<p>学習指導</p>
<p>第6、7日</p> <p>各自設定</p>	<p>・社会体験研修 体験研修1日分とレポート作成等事前事後研修0.5日分 として実施</p> <p>次のA、Bのいずれかを選択 A：企業体験研修に参加 B：各自で研修先を選定、実施</p>	<p>素養 連携・協働</p>
<p>10月18日(火)</p>	<p>・プレゼンテーション力の向上</p>	<p>学習指導 連携・協働</p>
<p>第8日</p> <p>1月26日(木) 27日(金) 2月2日(木) 3日(金) 9日(木) 10日(金) のうちいずれか1日</p>	<p>・教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)</p>	<p>学習指導 マネジメント 人材育成 連携・協働 素養</p>
	<p>・通信型研修「ファシリテーションの基礎」</p>	<p>連携・協働</p>

※校(園)内研修は年間10日程度

マネジメント研修

(1) 目的

- ・学校経営の理論とそれにもとづいた学校経営ビジョンの立て方について理解し、その改善のための方法を学ぶ学校組織マネジメントと、教育課程を編成し改善するスキルを高めるためのカリキュラム・マネジメントに関する研修を行い、受講者が具体的実践を通して学校運営に積極的に関わり、管理職を目指す上で必要な資質・能力の向上を図る。

(2) 福井県教員育成指標との関連<第3ステージ>

- ・ミドルリーダーとしての経験を生かし、組織的な学校運営に関わる立場から学校の実態把握や具体的改善方策の提案をするなど、組織運営についての専門性と実践力を身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・年度末にオンラインでのグループ協議を導入し、受講者間で実践状況や成果について共有

(4) 対象者

- ・研修の受講を希望するもので、市町教育委員会または県立学校の管理職より推薦を受けた40歳代から50歳代前半の教諭

(5) 内容

研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 6月1日(水) 教育総合研究所での受講 もしくは勤務校や自宅でのオンライン受講のいずれかを選択 (事前研修) 通信型研修「学校組織マネジメント」 (事前課題) 勤務校のSWOT分析等 ----- 学校組織マネジメント研修 ・組織の活性化に向けた学校組織マネジメントの活用(講義・演習) ・所属校のスクールプランの検討と意見交換(協議) ----- (事後課題) 校務分掌における具体的実践プラン作成	マネジメント 連携・協働
第2日 7月29日(金) 教育総合研究所での受講 もしくは勤務校や自宅でのオンライン受講のいずれかを選択 (事前研修) 通信型研修「カリキュラム・マネジメントの基礎」 (事前課題) 勤務校の学校評価の分析等 ----- カリキュラム・マネジメント研修 ・教育目標実現のためのカリキュラム・マネジメント(講義) ・学校教育活動改善の視点と具体的改善の方策(講義・演習) ・実践プランの検討と意見交換(協議) ----- (事後課題) 校務分掌における具体的実践プラン作成	
第3日 11月中 オンラインもしくは訪問のいずれかを実施 学校別協議 ・実践プラン実施状況報告 ・管理職からの評価 ・質疑応答、助言(協議)	
2月中 オンライン 実践報告グループ協議 ・実践報告と意見交換(協議)	

- ・各校での実践について報告書を提出(1月末)し、研修の成果を発表(2月)

新任教頭研修

(1) 目的

- ・教頭として教育活動を推進するための資質・能力の向上を図る。
- ・ケース演習を通して実践的なマネジメントの手法を学び、学校経営力の向上を図る。
- ・ファシリテーション実践を通して、傾聴の技術と大切さを学ぶ。

(2) 福井県教員育成指標との関連<管理職>

- ・トップリーダーとして教育活動を推進するために、コミュニケーション力などの素養と学校経営者としての専門性を高め、学校運営の実践力を身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・年間を通じて教頭の職務および学校組織マネジメントについて学校で取り組んでいる実践をもとに協議し、新たな実践につながる研修になるよう、教職大学院と協働して研修内容を構築
- ・学校危機管理、学校財務管理に関する研修の充実

(4) 対象者

- ・令和4年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任教頭

(5) 内容

	研修内容	指標で求められている資質・能力
第1日 4月20日(水)	(事前研修) 通信型研修「目標管理の基礎」 「ファシリテーションの基礎」	マネジメント
	学校組織マネジメントⅠ ・教育庁講話 ・教頭の職務について ・組織力向上のための協働と人材育成 ・ファシリテーション実践について	素養 業務改善 マネジメント 人材育成
第2日 5月13日(金) オンライン	「学校組織マネジメント研修Ⅱ」 ・学校危機管理 ・学校財務管理 (新任教頭は悉皆、過年度任用教頭の希望者も受講可) ・教育総合研究所長講話	素養 学校経営 学校安全 危機管理 財務管理
第3日 7月1日(金)	「学校組織マネジメント研修Ⅲ」 ・組織力向上のための協働と人材育成 ・各学校の実践から学ぶ ・学校の安全と危機管理	素養 人材育成 業務改善 学校安全 危機管理
第4日 10月25日(火)	「学校管理職マネジメントⅣ」 ・組織力向上のための協働と人材育成 ・学校組織マネジメントの実際と実践プランの協議	マネジメント 人材育成

新任校長研修

(1) 目的

- ・学校経営ビジョンの立て方や教職員との共有など、学校改善に向けての研修を通して学校組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントに関する専門的な知識を習得し、実践的な学校経営力を育成する。
- ・魅力ある学校づくりのための具体的な実践や外部対応について学び、多様な視点での対応力を育成する。

(2) 福井県教員育成指標との関連<管理職>

- ・トップリーダーとして教育活動を推進する立場であるため、創造的に思考する力などの素養と学校経営者としての専門性（学校組織マネジメントやカリキュラム・マネジメント、リスクマネジメントなど）を、実践的な研修を通して身に付けられるようにする。

(3) 変更点

- ・外部折衝力向上やデジタル・シティズンシップに関する研修の充実

(4) 対象者

- ・令和4年度 公立小学校・中学校・県立学校の新任校長

(5) 内容

研修内容	指標で求められている 資質・能力
第1日 4月12日(火) (事前研修) 通信型研修「学校組織マネジメントの基礎」 ・教育庁講話 ・教育総合研究所長講話 ・外部折衝力向上について(講義・演習)	マネジメント 素養 マネジメント 教職員理解 人材育成 危機管理 家庭や地域との連携・折衝
第2日 4月27日(水) オンライン ・デジタル・シティズンシップについて(講義) *全校長研修を兼ねる ・教職員人事評価制度の概要と目標管理	マネジメント 危機管理
第3日 5月18日(水) ・学校組織マネジメントⅠ(講義・演習) ・教職員人事評価の運用と留意点	マネジメント 人材育成
第4日 7月6日(水) ・学校組織マネジメントⅡ(講義・演習) ・福井県教員育成指標について～意義と活用の仕方～	マネジメント 人材育成

採用前研修

○臨時的任用講師研修

(1) 目的

- ・臨時的任用講師に必要な基本的知識の習得や指導力の向上に資する研修を行うことにより、臨時的任用講師の資質・能力の向上を図る。

(2) 福井県教員育成指標との関連＜福井県が求める採用時の姿＞

- ・教職への情熱とともに豊かな人間性や広い視野を持ち、学びの専門家としての心構えを持つことができる。

(3) 対象者

- ・講師等経験 1 年未満の臨時的任用講師
- ・講師等経験 1 年以上の臨時的任用講師の希望者

校外研修				研修内容	指標で求められている 資質・能力
	教育総合研究所	嶺南教育事務所			
指定 研修	①	4月26日 (火)	4月26日 (火)	教員の基本 (服務規律、教員としての使命感・心構え等) 教員の指導力Ⅰ (子どもとの信頼関係を作る指導)	素養 指導力
	②	6月22日 (水) オンライン	6月22日 (水) オンライン	教員の指導力Ⅱ (学習指導技術の基礎、人権教育、健康安全)	指導力
	③	9月 8日 (木)	9月 7日 (水)	教員の指導力Ⅲ (授業実践研究 (模擬授業実践))	指導力
	④	10月26日 (水)	10月26日 (水)	今日的課題 (教育相談、道徳教育、特別支援)	素養 指導力
選択 研修	⑤ 各自設定 (いずれか2つ選択)			教科別研修講座等の受講	指導力
				通信型研修 1 講座を選択受講	素養 指導力
				授業参観 (授業名人の授業もしくは公開授業の参観)	素養 指導力

※校内研修は、年間25時間程度 (授業研究15時間程度、教員の実務に関する研修10時間程度)

○内定者事前研修

(1) 目的

- ・福井県公立学校教職員としての確かな職務遂行を図る。

(2) 福井県教員育成指標との関連<福井県が求める採用時の姿>

- ・教職への情熱と共に豊かな人間性や広い視野を持ち、学びの専門家としての心構えを持つことができる。

(3) 対象者

- ・令和5年度 福井県公立学校教職員採用内定者

(4) 内容

	研修内容	指標で求められている 資質・能力
	自己研鑽（各自） ・個人の課題に応じた研修内容を考え、教師としての見識を広げる ・通信型研修の受講、オンライン相談会への参加（任意）	素養
第1回 1月下旬	個人面談 ・校種、教科指導について ・自己研鑽に対する振り返り（アンケート）	素養
第2回 3月下旬	勤務予定校等への訪問 ・各市町教委、各配置校への挨拶 ・配置校での概要説明	素養
第3回 3月下旬	勤務予定校等への訪問 ・各配置校にて職員会議等に参加	素養

○教員志望者WEBセミナー「福井県で教員になろう」

(1) 目的

- ・未来を担う子どもたちを育てる教員の仕事の魅力を伝え、福井県の教員志望者を増やし、将来の福井県の教育力向上を図る。

(2) 福井県教員育成指標との関連<福井県が求める採用時の姿>

- ・子どもに対する愛情に加え、豊かな人間性や広い視野を持ち、他者との意思の疎通と協働を図ることの重要性を知る。

(3) 対象者

- ・大学生（大学院生含む）、高校生、保護者

(4) 内容

実施時期	実施場所	内容
9月18日（日）	オンライン開催	第1部 講話と説明 福井県の求める人材と採用試験 第2部 パネルディスカッション 若手教員が語る教職の魅力 第3部 グループ懇談 教員と少人数で気軽にトーク

4 基本研修・職務研修に係る教科別研修および通信型研修

(1) 教科別研修

区分	教科	研修講座タイトル	受講対象者			所管	
			初任者研修	2年目研修	資質向上研修 中堅教諭等	教育総合 研究所	嶺南教育 事務所
教科別研修Ⅰ	各教科	校種別教科研修	○				
教科別研修Ⅱ	国語	小・中学校国語科書写		○		■	
	芸術	小学校音楽科		○		■	
		小学校図画工作科		○		■	
家庭	小学校家庭科		○		■		
教科別研修Ⅲ	国語	小学校国語科			○	□	□
		中学校国語科			○	□	□
		高等学校国語科			○	□	
	地歴 公民 社会	小学校社会科			○	□	□
		中学校社会科			○	□	□
		高等学校地理歴史・公民科			○	□	
	算数 数学	小学校算数科			○	□	□
		中学校数学科			○	□	□
		高等学校数学科			○	□	
	理科	小学校理科			○	□	□
		中学校理科			○	□	□
		高等学校理科（物理）			○	□	
	芸術	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽			○	■	
		中学校美術科・高等学校芸術科美術			○	■	
		高等学校芸術科書道			○	■	
	技術・家庭 工業・商業 他	中学校技術・家庭科（技術分野）・産業教育とものづくり			○	■	
		中学校技術・家庭科（家庭分野）・高等学校家庭科			○	■	
	英語	小学校外国語科			○	□	
中学校英語科				○	□	□	
高等学校英語科				○	□		
道徳	小・中学校道徳科			○	■	□	
	基礎的読解力向上				□		
その他の 研修	プログラミング教育〔小・情報科担当〕			○	□		
	地域協働型〔総合的・探究的な学習の時間担当〕			○	□		

※体育については、別機関にて研修を実施

- ・「○」は研修対象者が選択して受講する講座、「□」は半日、「■」は1日で実施する講座
- ・教育総合研究所、嶺南教育事務所が所管する教科別研修Ⅲの小・中・高等学校の各5講座（国・社・数・理・英）は、全て半日研修となる。そのため、「中堅教諭等資質向上研修」の受講者が選択して受講する教科別研修Ⅲは、二つの教科または二つの校種を選択受講することができる。

(2) 通信型研修

領域	講座タイトル		受講対象者										
			初任者研修					2年目研修	3年目研修	中堅教諭等資質向上研修	マネジメント研修	新任教頭研修	新任校長研修
			小	中	県中	高	特						
授業改善	50本	教科指導に関する研修(各教科)	○	○	○	○				◆			
	G101	授業のユニバーサルデザイン	◎	◎	◎	◎	◎				◆		
	G102	授業の見取りの基礎・基本	◎	◎	◎	◎					◆		
	H801	道德教育の基礎	○	○	○						◆		
	G111	アクティブ・ラーニング講座 [入門編]	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆	◆
	G112	アクティブ・ラーニング講座 [授業づくり編]	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆
	G141	キャリア教育の基礎	◎	◎	◎	◎					◆		
教育相談・学級経営	G201	不登校の理解と対応	◎	◎	◎	◎	◎						◆
	G211	学級づくりシリーズⅠ	◎	◎	◎	◎	◎						
	G212	学級づくりシリーズⅡ						○					
	G213	学級づくりシリーズⅢ							◎				
	G230	人権教育						◎	◎				
教育情報	G301	情報セキュリティの基礎	◎	◎	◎	◎	◎						
	G302	知ってる? ネットトラブルのこと											◆ ◆
基礎社会力	G401	電話応対	◎	◎	◎	◎	◎						
	G402	来校者応対	◎	◎	◎	◎	◎						
学校改善	G611	ファシリテーションの基礎									◎		○
	G612	カリキュラム・マネジメントの基礎										○	◆
	G601	教師のメンタルヘルス	◎	◎	◎	◎	◎						◆
	G614	効果的な校内研修を目指して										◆	◆
	G615	アクティブ・ラーニングで学校改善を										◆	◆ ◆
組織経営	G700	目標管理の基礎											○
	G730	学校組織マネジメント										○	○
	G710	管理職のための教育法規											◆
	G711	リスクマネジメントの基礎											◆
	G721	教育法規の基礎入門											◆

◎…集合研修に置き換え、受講後はオンラインレポート提出

○…事前教材として視聴する講座

◆…受講を推奨する講座

5 新しい教育課題への対応（「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現）

（1）タブレットを活用した授業を実践するための研修を充実

ア 教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、学校現場の教員が授業等に生かせるような実践的な研修を実施

イ 幅広い年代の教員を対象としたタブレット活用に関する研修を実施

- ・ 初任者研修、2年目研修、中堅教諭等資質向上研修、管理職研修におけるICT活用および授業改善の知識・技能の習得

種別	目的	対象者(概数)	実施時期等	
研修	悉皆研修	タブレットを活用した教育に対する見識を深め、デジタル・シティズンシップ教育に積極的に取り組む	全校長	4月27日(水)
		タブレットを授業で活用するための基礎的な知識・技能を習得する	初任者(200名)	4月20,21,25,27,28日
		タブレットを授業で効果的に活用するための応用的な知識・技能を習得する	2年目教員(200名)	6月14日(火)
		ミドルリーダーとして、学校全体でタブレットの日常的な活用を推進するための手立ておよび実践力を習得する	中堅教員(150名)	6月15日(水)
	校種別研修	タブレットの活用に関する校内OJTを推進するための資質・能力を習得する	小中学校研究主任および指導主事(260名)	4月18日(月)ブロックごとに計10回
			県立学校授業改善、カリキュラム担当教員など学校運営の中心を担う教員(50名)	6月24日(金)
	全校種研修	デジタル・シティズンシップ教育についての知見を獲得し、各校におけるタブレットの活用に関する指導方法を身につける	生徒指導担当教員(小・中・高・特支)(310名)	5月6日(金)
			授業で端末を活用するために必要な基礎的な知識・技能を習得する	希望する全ての教員

（2）新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実

ア 学習評価や探究的な学習を導入した授業づくりなどSociety5.0の時代に適応し、グローバルな視野で考え、表現する力をつける授業改善のための研修を実施

イ 幼、小・中学校において、持続可能な幸せを育む学校づくりを目的とした福井県版ポジティブ教育プログラムの研修を実施

ウ 一人一台端末を活かした授業づくりに関する通信型研修の講座を新規に配信

種別	目的	対象者	実施内容等
配信	学習支援アプリケーション(ロイロノートスクール・MetaMoji Classroom・SKYMENU)および、クラウドサービス(Google Workspace for Education)を活用する際に参考とする	全ての教員	短編動画(30本)
その他	タブレット通信『Hello, Tablet!』を教育総合研究所ホームページに掲載する プログラミング研修(Ichigo Jam)を実施する		

6 教育庁各課等の研修

No	研修名		主な研修内容	受講者	研修 日数	受講 人数
1	教職員課	内定者事前研修	内定者の4月からの採用に対する不安を軽減し、意欲を高める。自己を高めるための自己研鑽の機会を設定する。	公立学校教員、小・中学校事務職員の令和5年度採用内定者	3日	240
2	高校教育課	地区別人権教育研究協議会	各学校における人権教育推進のための研修	全県校長	半日	430
3		嶺南地区県立学校人権教育担当者連絡協議会	各学校における人権教育推進のための研修	嶺南の県立学校人権教育担当者	半日	7
4		教育相談担当者連絡協議会	県立高等学校における教育相談担当者が必要な知識と技能を習得し、各校における教育相談活動の一層の充実を図るための研修	県立学校の教育相談担当者	半日 × 2	40
5		教務主任連絡協議会	教務主任に対して所管事項説明および情報交換会	全県立学校教務主任	半日	50
6		通級指導担当教員研修	「発達障害アセスメント」や「特性に応じた学習指導法」の研修	全県通級指導担当教員	半日 × 2	100
7		特別支援学校教員免許法認定講習（6講座）	特別支援学校教諭免許状に係る単位修得のための研修会	全県教職員希望者	1日	350
8		医療的ケア（特定行為従事者）教員研修	医療的ケアを担当する教員研修	関係特別支援学校教員	1日 × 2	30
9		医療的ケア看護師研修	医療的ケアを担当する学校看護師研修	関係特別支援学校看護師	半日	35
10		特別支援教育コーディネーター連絡協議会（特別支援学校）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県特別支援学校担当教員	半日 × 2	50
11		特別支援教育コーディネーター連絡協議会（中・高）	特別支援教育コーディネーターの連絡会	全県中高担当教員	半日	130

No	研修名	主な研修内容	受講者	研修 日数	受講 人数
12	新入試対応指導研修	大学入学共通テストに対応するため、生徒の力を適切に評価できる問題を作成する能力の向上等を図る研修	全県立学校 情報科担当教員希望者	半日 × 4	50
13	いじめ・不登校対策研修会	いじめ・不登校等の対応について	全県 小・中学校の校長	半日	300
14	小・中学校地区別人権教育研究協議会（福井・高志地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北 小・中・県立学校の校長	半日	100
15	小・中学校地区別人権教育研究協議会（奥越・坂井・丹南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺北 小・中・県立学校の校長	半日	130
16	小・中学校地区別人権教育研究協議会（嶺南地区）	人権教育に関する講義 研究協議	嶺南 小・中・県立学校の校長	半日	75
17	教育相談担当教員養成研修	教育相談活動のコーディネーターとなる資質を養成する。教育相談担当の立場にとらわれず、教育活動全体に有効な相談態度・知識・技術の習得を図る。	小・中学校30、40歳代の教員	1日	150
18	第1回スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日	120
19	第2回スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等研修会	大学教授等の講義およびグループ別協議	SC・SSW・電話相談員等	半日	120
20	スクールカウンセラー担当者連絡協議会	スーパーバイザーの講義および事業の概要説明	S C担当教員	半日	160
21	学校花壇講習会	学校花壇を推進するための栽培技術力向上に関する講義および実技研修	全県 教職員	半日	30
22	家庭教育支援講座	大学教授等の講義およびグループ別協議	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
23	幼小接続講座①	大学教授等の講義	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300

義務教育課

No	研修名	主な研修内容	受講者	研修日数	受講人数
24	幼小接続講座②	大学教授等の講義	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	未定	300
25	幼小接続講座③ ※幼児教育の理解・ 発展推進事業 (都道府県協議会) と兼ねる	大学教授等の講義およびグループ別協議	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	300
26	幼小接続講座④	フォーラム (講座、市町幼児教育アドバイザー・ 園内リーダー発表 等)	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、小学校教諭	半日	500
27	園内リーダー養成 研修	・講義 ・グループ協議(事例検討) ・市町幼児教育アドバイザー養成研修 受講者企画・運営の研修会等への参 加 等	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭	半日	100
28	園内リーダーフォ ロアアップ研修	・講義(フォローアップ研修の進め方、 自園の課題について) ・園内研修報告会 等	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭	半日	40
29	市町幼児教育アド バイザー養成研修	・講義 ・グループ協議(園内リーダーの事例 検討支援) ・自市町の研修会等の企画・運営 等	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、市町担当課 職員(教育委員会・保 育担当課)	1.5日	30
30	市町幼児教育アド バイザーフォロー アップ研修	・講義(自市町の課題に即したアドバ イザーの役割) ・市町での実践報告	全県 保育士、幼稚園教諭、 保育教諭、市町担当課 職員(教育委員会・保 育担当課)	半日	10
31	新聞を活用した教 育研修会	新聞を活用した授業の改善・充実のた めの研修	鯖丹・南越・二州・若 狭ブロック 小・中学校の教員	半日	50
32	弦楽指導者講習会	弦楽クラブ・部活動の運営について	全県 小・中・高の推進校の 担当教員	半日	30
33	吹奏楽指導者研修会	吹奏楽の合奏指導法に関する研修	全県 中・高校の吹奏楽指導者	半日 ×2	60
34	初任者研修指導教 員研修会	・初任者研修指導教員の服務および校 内研修について情報交換 ・初任者研修指導教員の指導の実際に ついてグループ研修	初任者研修指導教員	半日	約30
35	外国人児童・生徒 等教育連絡協議会	外国人児童生徒等に対する日本語指導 指導者養成研修(中央研修)の伝達講習	全県 小中教員(加配教員は 悉皆)、指導主事、県 立高教員、日本語支援 員、コミュニケーション ンサポーター	半日	50

No	研修名	主な研修内容	受講者	研修日数	受講人数
36	外国語指導助手の指導力等向上研修	効果的なチームティーチングに関する講義、演習	全県 ALT、小中高教員	1日	150
37	「引き出す・楽しむ教育」推進事業研修	「引き出す・楽しむ教育」に関する講演、意見交換等	全県 小中学校教員	半日	未定
38	「引き出す・楽しむ教育」推進事業意見交換会	「引き出す・楽しむ教育」に関する意見交換等	全県 小中学校教員	半日	未定
39	生涯学習・文化財課 子ども読書指導者研修会	子どもと読書をつなぐ方法とそれに伴う技術を学ぶ研修	全県 図書館司書 小・中教員 司書教諭 学校司書	半日	60
40	人権教育指導者研修会	同和問題をはじめとする人権問題に関する講演	国、県、市町、学校、 企業、各種団体等における人権教育の指導的立場の者	半日	1000
41	保健体育課 体育実技指導者伝達講習会	子供の体力向上指導者養成研修会（中央研修会）の県内伝達講習会	全県 小・中・高保健教員	半日	100
42	武道（柔道・剣道）指導者養成講習会	武道経験の少ない体育担当教員、部活動担当者を対象とした実技講習会（1級取得）	全県 小・中・高保健教員 部活担当者	2日	30
43	学校体育実技（柔道・剣道）認定講習会	武道指導の充実を図るため、実技指導力の向上を目的とする実技講習会（段位取得）	全県 小・中・高保健教員 部活担当者	3日	30
44	健康教育指導者研修会	健康教育に関する諸課題への取組みについて研修し、健康教育に携わる指導者の資質向上を図る。	全県 小・中高教員 教育委員会	半日	900
45	防災教室講習会（自然災害）（原子力災害）	教職員の防災に対する意識向上を図るための講習会	全県 小・中高教員 教育委員会	半日	300
46	栄養教諭等研修会	食に関する指導における諸課題への取組みについて研修し、栄養教諭等の資質向上を図る。	全県 栄養教諭 学校栄養職員	半日	80
	小学校体育科・中学校保健体育科 合同体育主任研修会	小学校体育科・中学校保健体育科の教育課程の編成および実施上の諸課題や体力向上、運動部活動等について協議し、学校体育の充実に資する。	全県 小学校体育科主任 中学校保健体育科主任	半日 ×3	260
	県立学校保健体育科主任研修会	高等学校・高等部保健体育科の教育課程の編成および実施状況の諸課題や体力向上、運動部活動について協議し、学校体育の充実に資する。	全県 県立学校保健体育科主任	半日	45

No	研修名	主な研修内容	受講者	研修 日数	受講 人数
47	特別支援教育コーディネーター専門研修	園・学校や地域ぐるみで特別支援教育の推進を図る。 また、その中心的な役割を担う教員の知識や実践力の向上を図る。	全県 特別支援教育コーディネーターとしての実務経験があり、今年度特コに指名されている教職員	2日間 (1日) 3日間 (半日)	4
48	授業研究リーダー研修	園・学校や地域ぐるみで授業改善に向けた研究の推進を図る。 また、その中心的な役割を担う教員の知識や実践力の向上を図る。	全県 校内で授業推進を進める立場の教職員	2日間 (1日) 3日間 (半日)	4
49	特別支援教育コーディネーター養成研修 (幼・小・中・高)	特別支援教育コーディネーターの基礎的知識や技能を培う。	全県 初めて特別支援教育コーディネーターに指名された教職員	3日間 (半日) +所属園・校での研修 の企画運営	60
50	特別支援教育コーディネーター養成研修(特支校)	センター的機能を担う特別支援学校のコーディネーターとしての基礎的知識や技能を、実践を通して培う。	全県 初めて地域の教育相談を担当する特別支援教育コーディネーターに指名された教職員	3日間 (1日) 1日間 (半日)	5
51	新任特別支援学級担任教員研修	特別支援学級担任として必要とされる学級経営、学習指導、児童生徒理解等に関する基礎的事項を学ぶ。	全県 新任の特別支援学級担任	5日間 (半日)	80
52	研修講座	①発達障がい児の感覚と運動の支援 ②発達障がいの基礎 - 思春期・青年期 - ③特別支援教育の視点で考える 授業のユニバーサルデザイン ④福祉と園・学校との連携 - 困り感を抱える子どもと保護者を支えるために - ⑤読み書きに学びにくさのある子どもへの支援 - いま目の前にいる子の「わかった!」を目指して - ⑥自閉スペクトラム症の理解と支援 - 子どもの困り感の理解と具体的な支援 - ⑦子どもの実態に応じた自立活動の指導 ⑧特別支援学級の取組 AM 小学校の実践報告とテーマ別情報交換 PM 中学校の実践報告とテーマ別情報交換	全県 教職員	8講座	903

7 教員の自主的な研究活動への支援

（「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現）

- 「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために、教員の自主研究活動への支援を継続し、校内での研究活動を活性化

「引き出す教育・楽しむ教育実践」における自主研究グループ等に対する支援内容

①若手教員学習会 補助限度額 10万円（50件）

②授業実践研究

- ・指導力向上のための授業実践研究・教材開発

補助限度額 20万円（15件）

- ・授業名人を中心にした研修・研究会・授業実践研究等

補助限度額 30万円（10件）

③先端技術活用研究 補助限度額 20万円（10件）

④小学校クラブ活動 補助限度額 5万円（20件）

8 主体的な研修受講とキャリア形成の促進

- ・福井県教員育成指標（以下「指標」という。）をもとに該当するステージに必要な資質・能力を培うため、主体的に研修に取り組み、長期的視野を持ってキャリア形成を行っていく。
- ・指標をもとにキャリアステージに応じた資質・能力を自己評価する振り返りを研修において実施し、年間の各自の目標や研修の取組みについて省察しながら自らの資質・能力の向上を図る。
- ・研修講座申込システムで各自の研修受講履歴を閲覧し、研修計画の立案に役立てたり、ポートフォリオとして確認したりする。
- ・指標を管理職との面談で活用し、重点的に向上させたい資質・能力と研修計画や省察を管理職とともに共有し、各自の主体的な取組みへとつなげる。
- ・管理職は指標を人材育成のために積極的に活用する。一人一人の教員の資質・能力を育むために研修受講履歴を把握し、キャリアに応じた研修の受講を促進する。

令和4年度 福井県の教員研修体系とポイント

参考

福井県教育委員会・福井県教育総合研究所

福井県の教員研修体系（集合型・遠隔型・通信型・訪問型研修）

採用前

教員志望者WEBセミナー「福井県で教員になろう」0.5日
・若手教員によるパネルディスカッション、参加者によるグループ協議 等

内定者研修 3日
・自己研鑽、個人面接、通信型研修の受講、勤務予定校訪問 等

臨時任用講師研修 6日
・学習指導、模擬授業、児童・生徒理解 等

第1ステージ

初任者研修 14日
・ICT活用による授業改善、児童・生徒の特性に応じた生徒指導、年間を通した授業実践研究 等
・オンラインでの研修実施（2日）
・タブレット活用研修を5拠点で実施。移動の負担を軽減するとともにICTを活用した授業力の向上を支援

2年目研修 5日
・ICT活用、人権教育、授業実践研究、ポジティブ教育、ボランティア活動等
・タブレット活用研修をオンラインで実施、移動の負担を軽減

3年目研修 3日
・人権教育、授業実践研究、ポジティブ教育、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり 等

第2ステージ

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 8日
・プレゼンテーション、タブレット活用、ファシリテーション、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業づくり 等
・集合型研修の会場を増やし、移動の負担を軽減
・社会体験研修を1、5日に軽減。企業体験研修の充実

免許状更新講習

中堅教諭等資質向上研修Ⅱ 3日
・気がかりな子どもへの支援 等
・ミドルリーダーとしてOJTを活性化

免許状更新講習

マネジメント研修 3日
・オンラインでのグループ協議を実施、受講者間で実践状況や成果を共有
・学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント 等
・福井大学教職大学院「学校改革マネジメントコース」1年履修資格を付与

第3ステージ

中堅教諭等資質向上研修Ⅲ 3日
・学校組織マネジメント 等

免許状更新講習

新任教頭研修 3日
・学校危機管理、学校財務管理、人材育成、ファシリテーション実践 等
・教職大学院と協働して研修を充実

管理職

新任校長研修 3日
・デジタル・シティズンシップ、学校組織マネジメント、外部折衝力、学校経営ビジョンの作成、働き方改革・業務改善、危機管理 等

自主研究活動支援（若手教員学習会）

教育庁各課・各機関の研修・教科別研修・自主研究活動支援（引き出す教育・楽しむ教育実践）

世代間をつなぐクロスセッション・OJTを活用した校内研修・各学校の実践を支援する訪問型研修

（1）「福井県学校業務改善方針」を踏まえて教員研修を精選・効率化

- 集合とオンラインを効果的、効率的に組み合わせた研修を実施
 - ・教員育成指標に基づいた実践的課題に対する研修の実施により、教員の個別の学びと協働での学びを支援
- 感染症等への対策を講じた研修の実施
 - ・クロスセッションの回数を増やし（4回→6回）、1回あたりの受講者数100名以下で実施
- 受講者の移動の負担を軽減
 - ・中堅教諭等資質向上研修やクロスセッションにおいて丹南地域での実施回を設定
- 受講者が利用しやすいシステムに変更
 - ・教育総合研究所ホームページの改修に伴い、三つのシステム（研修講座申込システム、通信型研修システム、教育情報システム）の入り口を一本化
 - ・教育情報システムの活用により、研修資料の配付やレポート等の提出を簡易化

（2）OJTを通じて日常的に学び合う校内研修を充実

- 年間を通して学校改革に向けた実践に取り組み、省察、記録を重ねる実践型の研修を推進（マネジメント研修）
 - ・OJTを活用して指導力の向上を図るために、校内での具体的な実践につなげる研修を実施
 - ・受講者に対して受講後の校内での実践を支援するために、研修後、オンラインでの協議や実践交流を実施
- 様々な課題に対応するために学校を訪問
 - ・教科指導、学級経営に関する訪問型研修や、学校の要請に応じた教育相談に係る事例会議等を実施し、教育総合研究所などのチームによる継続的支援を充実
 - ・県教育庁と市町教委が連携し、優れた教材や指導方法を開発、支援

（3）新しい教育課題に対する研修を強化し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- ICTを活用した授業を実践するための研修を充実
 - ・教育効果の高い活用方法を全国の先進事例から学び、授業等に生かせるようにタブレット活用の実践的な研修を実施
 - ・管理職を含め幅広い年代の教員を対象としたタブレット活用を推進するための研修を実施
- 授業におけるタブレット活用を促進
 - ・活用のヒントや事例を紹介し、授業でのタブレット活用を支援
- 学校の様々な課題に対応する力の向上を支援
 - ・新任管理職対象に学校危機管理、外部対応、学校財務マネジメントに関する研修を実施
 - ・全校長対象にデジタル・シティズンシップに関する研修を実施
- 新しい教育課題に対する訪問型研修、通信型研修等を充実
 - ・学習評価や探究的な学習を導入した授業づくり、学校マネジメント等、各学校の課題に即した実践的な研修を実施
 - ・SASAや全国学力調査などの分析結果をもとに授業改善を支援
 - ・一人一台端末を活かした授業づくりに関する通信型研修の講座を新規に配信
- 「引き出す・楽しむ教育」を推進するため、テーマごとに講演や研修、意見交換会を実施

（4）教員の自主的な研究活動への支援を継続し、「引き出す教育」、「楽しむ教育」を実現

- 「引き出す教育」、「楽しむ教育」の実現のために教員の自主研究活動への支援を継続
 - ・若手教員の自主研究活動を活性化するための支援を継続
 - ・ICTを活用した実践や探究的な学習活動など、新たな教育課題への対応に係る自主研究活動の支援を継続し、学校や地域で特徴ある実践的な取組みを支援
 - ・授業名人をリーダーとする教員グループの自主研修活動への支援

（5）福井県教員育成指標をもとに、個々の教員が自らキャリア・マネジメントできる体制を充実

- 「学び続ける教員」として、主体的なキャリア・マネジメントができるように支援
 - ・教員免許状更新制度の発展的解消に向け、自らの受講履歴とキャリアステージに応じた主体的・効果的な研修受講を支援
 - ・受講者が指標をもとに自分のキャリアステージに応じて必要な資質・能力を理解し、主体的な研修の受講を促すために、それぞれのステージの研修において自分の資質・能力を自己評価できるシートを活用